

短腸症候群治療剤「レベスティブ[®]皮下注用 0.95mg」の発売について

過日、厚生労働省に第3回医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬の要望募集で提出した短腸症候群治療剤レベスティブ[®]皮下注用 3.8mg（一般名：テデュグルチド（遺伝子組換え）（以下レベスティブ）の剤形追加として、体重 10kg 未満および体重 20kg 未満の中等度以上の腎機能障害を有する患者さんを対象とした低含量製剤「レベスティブ[®]皮下注用 0.95mg」が 6月 8日に武田薬品工業株式会社より、発売されましたのでご連絡申し上げます。

販売名	レベスティブ皮下注用0.95mg
一般名	テデュグルチド（遺伝子組換え）
効能・効果	短腸症候群
用法・用量	通常、テデュグルチド（遺伝子組換え）として1日1回 0.05mg/kgを皮下注射する。

○第3回 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬の要望募集で提出された要望書

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-Iyakushokuhinkyoku/0000052810.pdf>

○短腸症候群治療剤「レベスティブ[®]皮下注用0.95mg」の発売について

URL : <https://www.takeda.com/ja-jp/announcements/2023/revestive/>